

#### 4 調査結果から見られる傾向や処分の状況について

<p>体罰 ・ 言葉の暴力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体罰と判断される件数は、6件であった。(※前回調査は5件)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・6件の処分内容は、いずれも嚴重注意である。(※前回調査では、嚴重注意(5件))</li> </ul> </li> <li>○ 行き過ぎた指導等の不適切な行為は、69件であった。(※前回調査は78件)</li> <li>○ 言葉の暴力は昨年度の197件から145件に減少し、特に中学校では前回の85件から46件へと大幅に減少が見られた。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・145件の内訳は、身体や容姿(5件)、人格や能力(107件)、威嚇や脅し(33件)である。</li> <li>・児童生徒に対して、嫌みや皮肉を言ったりして、相手の人格を傷つけたり、能力を否定したりすることなどが見られた。</li> </ul> </li> </ul>
<p>セクシュアル ハラスメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒がセクハラを受けたと回答したのが66人(前回調査は52人)と微増である。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内訳は小学校24人(前回調査19人)、中学校42人(前回調査31人)、高校0人(前回調査2人)、特別支援学校0人(前回調査0人)である。</li> <li>・増加の理由として「身体に触られ不快であった」という項目の回答の増加にあることが挙げられる。</li> </ul> </li> <li>○ 教職員がセクハラを受けたと回答したのは32人であり、昨年度の35人とほぼ同数である。小学校が22人と7割近くを占め、教職員同士に加え、児童や保護者からセクハラを受けたという報告もあった。</li> </ul>
<p>各学校での取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体罰及びセクハラ防止策として、年度当初の職員会議で、校長の経営方針として、体罰・セクハラ禁止を明記し、その後、関連事案が起こるたびに、職員会議や打合せで、具体的事例や新聞の切り抜きなどを配布して周知徹底を図っている。</li> <li>○ 教職員の連携を強化し、児童生徒の共通理解と風通しのよい職場環境を作ることで、未然に防ぐ努力を行っている。</li> <li>○ 言葉の暴力の定義や叱り方についての指導や研修、管理職による校内巡視や授業参観による各学級の状況把握にも力を入れ、体罰や言葉の暴力を未然に防ぐ取り組みを進めている。</li> <li>○ 独自のアンケートやセルフチェックを実施して、教職員自身に振り返りの時間を確保したり、教育相談週間を設けるなど教育相談活動の充実に対する取り組みも行っている。</li> </ul>

#### 5 調査を踏まえた今後の対応

<p>学校組織体制の強化のための 研修の充実 並びに教育相談体制の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体的事例を基にした児童生徒指導に関する研修の充実を図る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の教員による指導や校内支援体制の構築</li> <li>・言葉の暴力、体罰、セクハラ等の定義の明確化と各校における研修としての位置づけ</li> <li>・対策委員会の設置、若年層教員の指導力の育成</li> <li>・アンガーマネジメントの視点からの研修</li> </ul> </li> <li>○ 教育相談週間や悩み調査を各学校において実施する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談週間の設定と児童生徒理解の推進</li> <li>・セクハラ、パワハラ相談員の指名</li> <li>・学校評価アンケートや目標申告面接の活用</li> </ul> </li> </ul>
<p>教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理訪問や各種研修会において、サービス管理やモラルに関する研修の改善を図る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度末に作成した「体罰及びセクハラ撲滅のリーフレット」、28年7月に作成した「不祥事から身を守るためのセルフチェックシート」を全校に配布するとともに、研修会等において積極的に活用する。</li> </ul> </li> <li>○ 体罰及びセクハラ調査の改善を図る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の体罰調査については、「言葉の暴力」などに関する意識調査を実施することにより、これまでの指導のあり方を見直す機会とする。</li> <li>・回収方法や事実確認については、引き続きプライバシーが守られるように配慮する。</li> </ul> </li> </ul>